

# 大規模浸水を想定した被害最小化対策の例

二線堤 - 河川での事例 -

宮城県鹿島台町（鳴瀬川）

昭和61年8月の大洪水での被害を教訓として、地域が大洪水に陥っても被害を最小限にとどめられるよう、鹿島台町、大郷町、松島町において「水害に強いまちづくりモデル事業」をスタート。

水害に強いまちづくりモデル事業の一環として氾濫流制御施設(二線堤)の整備を実施。



愛媛県大洲市（肱川）

大洲市は、東大洲地区の暫定堤防(矢落川左岸)を越水して市街地に氾濫する洪水を軽減するとともに、氾濫開始時刻を遅滞させるため、市道の嵩上げによる二線堤を整備。

また、松下寿工場では洪水氾濫に備えて自ら防水壁を設置し、洪水被害を回避。



## 止水板の設置

止水板の設置(鶴見川流域)  
港北区役所駐車場



止水板の設置(鶴見川流域)



防水扉の設置(地下鉄)



## 水防活動と連携した可搬式堤防(止水板)の設置

可搬式の特殊堤防の設置(エルベ川)



可搬式の特殊堤防の設置(ドナウ川)



## 地下空間における対策 - 東京都内の地下鉄の対応(東京メトロ) -

### 1. 地下鉄出入口の止水板

- ・現在の設置状況 :  
123駅、出入口総数753箇所のうち、115駅、487箇所
- ・今後の予定 :  
出入口の改修工事等に合わせ全ての出入口に設置する予定
- ・設置の考え方 :  
江東地区等の隅田川以東の地下駅出入口は全てに、また、隅田川以西においてはTP+3.1m以下の出入口(TP+3.1m以上であっても出入口周囲の地形・過去の浸水事例等を考慮)に、35cm×2段の止水板を設置

\* TP+3.1mは大正6年の東京湾の既往最大潮位



### 2. 軌道内部の防水ゲート

- ・現在の設置状況 : 7箇所
- ・今後の予定 : なし



### 3. 防水扉

段差付出入口(東西線南砂町駅)

- ・現在の設置状況 :  
123駅、出入口総数772箇所のうち、15駅、59箇所
- ・今後の予定 : なし



### 4. その他の取り組み

- ・換気口に浸水防止機を設置
- ・地盤の低い隅田川以東の出入口には段差(上り階段)を設置
- \* バリアフリーの関係から、新設出入口には考慮していない。
- ・地盤の低い隅田川以東の坑口には、防水壁を設置

## 個々の地域の危険度が実感できる情報提供

### 市街地内で水位情報等の提供

過去の洪水氾濫時の浸水深を電柱に表示



浸水深

ここは昭和22年の洪水で利根川の堤防がこわれ赤い線まで浸水しました

埼玉県栗橋町

重要な情報を多くの人に効率よく伝えるために、人の集まりやすい駅前等で情報提供



川崎駅構内  
(多摩川、鶴見川)



新横浜駅前ロータリー  
(鶴見川)

(出典)国土交通省京浜河川事務所HP

## 浸水に強い建物構造への誘導

### 建物のピロティ化

ピロティー建築による耐水化(鶴見川流域)



ピロティー建築による耐水化(中川・綾瀬流域)



## ①浸水時にも機能する避難場所の確保

### 避難ビル

大規模地震発生時における津波による被害の軽減のため、避難場所の確保として、堅固な建築物の活用(津波避難ビル)を推進。

国府漁村センター緊急避難所  
(三重県志摩市)



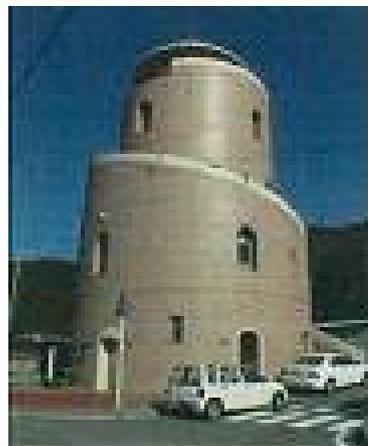
和歌山県串本町



片浜コミュニティ防災センター  
(静岡県相良町)



錦タワー(三重県大紀町)



## ②浸水時にも機能する避難路の確保

### 緊急避難路、救援路の確保(長良川)



災害時には高速道路の側壁を撤去し緊急河川敷道路へのアクセスを可能とする案(構想段階)

(復旧資材等を運搬)

### 鉄道駅と連携したペデストリアンデッキ



ライフライン等の浸水時における機能維持

防水壁を設置し耐水化

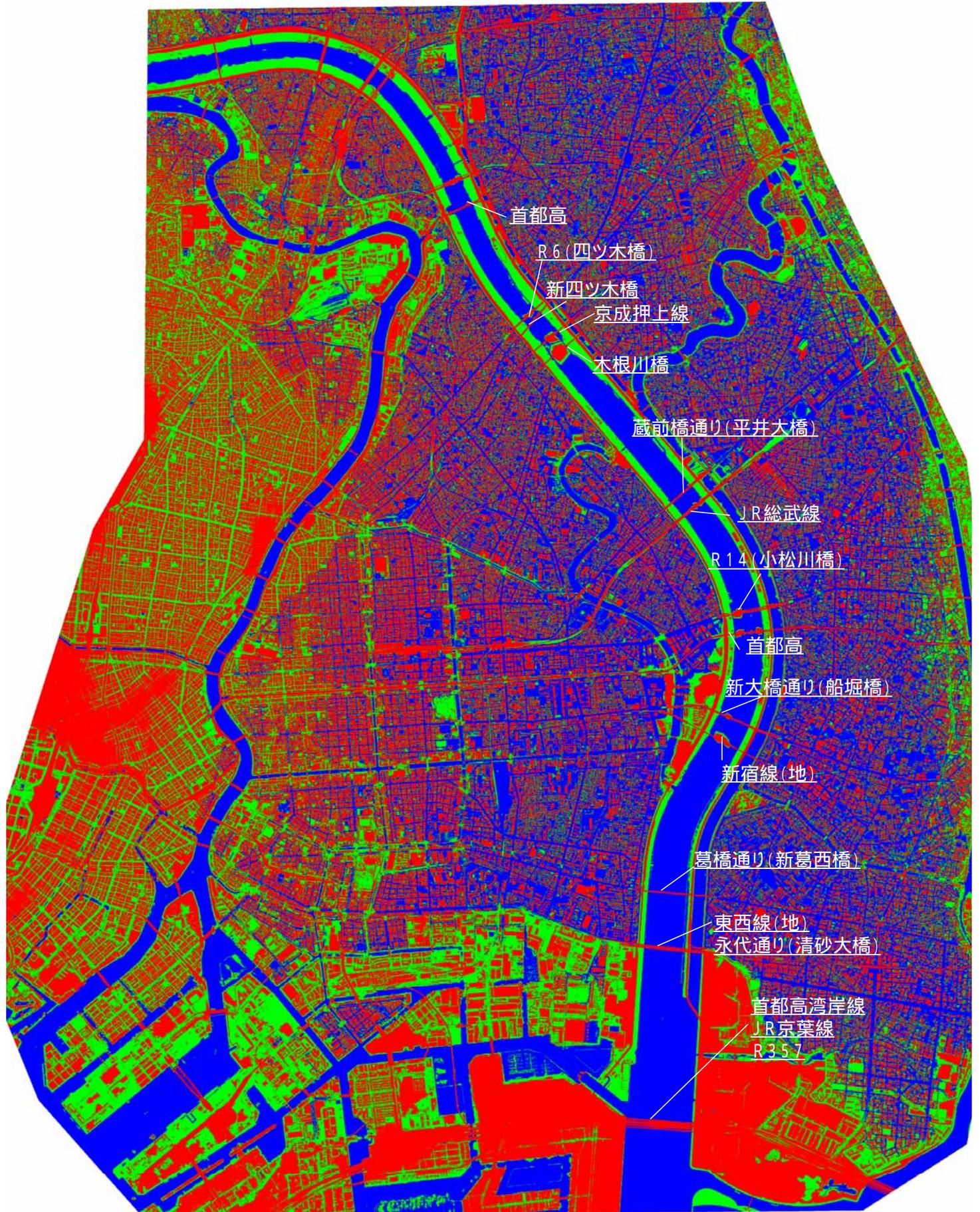


防水壁(愛媛県大洲市松下寿工場)





# 東京都ゼロメートル地帯において 浸水深により浸水をまぬがれる部分の現況



- 標高値 1.0m以下 …… 朔望平均満潮位で水没する部分
- 標高値 1.0～4.0m …… 朔望平均満潮位で浸水した場合、全水没はまぬがれる可能性がある部分
- 標高値 4.0m以上 …… 朔望平均満潮位で浸水した場合、1階層以上は浸水をまぬがれる可能性がある部分